



公益社団法人に移行した
日本推進技術協会会長

なかの まさあき
中野 正明氏

今後は海外への展開を視野

4月1日に社団法人から公益社団法人へ移行し、2006年当時、いわゆる学生時代、ゼネコンのシールれたときから公益社団法人をド工事現場でのアルバイト。目指そうと決めていた。協会内部では反対意見もあったが「公益社団法人として活動する」とが、安定した協会運営を続けることにつながる」と会員に説明した。協会の事業は、技術積算指針や歩掛かりに関する書籍の発行、推進工事士資格試験の実施など公益的

な面も多く、そのことも公益社団法人を目指す後押しとなった。今後は海外への展開を視野に入れる。現時点でも協会の何社かは海外で仕事をしているが、単独の企業だけでは難しい場面も出てくる。「官と民と手を組んで、お互いに連携を取りながら事業を進めることが必要」で、協会がつなぎ役となることを考える。

現在は、関東と関西を往復する生活。埼玉の家からは協会事務所へ出向き、大阪の会社には単身赴任で行き来する。休日は、関西にいるときは芦屋から六甲山に登ったり、海へ散歩に行く。自宅では台所に立ち、家族に料理を振る舞う。(営業局＝藤井瑞穂)



略歴 1976年3月京都大学工学部交通土木工学科卒、同年4月機動建設工業入社、2001年8月取締役東京事務所長、09年4月取締役専務執行役員土木本部長。09年5月社団法人日本下水道管渠推進技術協会会長、11年4月公益社団法人日本推進技術協会会長。神戸市出身、埼玉県北本市在住、59歳。